

平成25年度実質当初予算 競馬事業局主要施策の概要

◎予算編成のポイント

- ・ 平成25年1月開催の金沢競馬経営評価委員会において、平成25年度は税金投入の事態に陥らないとの承認を得て、平成25年度の競馬存続を決定。
- ・ 金沢競馬を取り巻く環境は引き続き厳しいが、11月のJBC競走を始め、魅力あるレースの提供に加え、日本中央競馬会（JRA）のGⅠレース発売などにより新規ファンの獲得を図り、歳入確保に向けた取り組みを進めていく。

◎重点主要施策の概要

1 第13回JBC競走の開催

平成25年度は、金沢競馬が現在の金沢市八田町に移転して40年となる節目の年であることから、平成25年11月4日（振替休日・月）に、地方競馬最大規模のJBC競走を開催する。当日は全国から多数の来場者が見込まれることから、全国に向けて金沢競馬と石川県の魅力を発信する。

2 自場売得金額の確保

収益性の高い自場売得金額の増加策として、ファンに喜ばれる多頭数が出走するレースの提供により競馬 자체の魅力向上に努めるほか、施設のバリアフリー化に向けスタンド棟にエレベーターを設置するなど、場内環境の一層の整備を進めること。

また、ファンと騎手との交流機会の拡充や競馬教室の開催など、ファンサービス向上による来場者の増加対策を実施する。

3 在宅投票の販路拡大

今後、売上の増加が見込まれる在宅投票については、昨年10月から発売を開始したJRAのインターネット投票システム（IPAT）による販路の拡大を図るほか、全国スポーツ紙に金沢競馬のレース情報を掲載し、新規ファンの獲得と売得金額の確保に努める。

また、既存のインターネット投票会社の会員に対し、金沢競馬のレース情報を始め、その魅力をメールマガジンで発信することにより販路拡大を図る。

4 JRA勝馬投票券の発売

全国的に人気の高いJRAのGⅠレースを金沢競馬で発売することにより、入場者増を図り、更には手数料収入の確保を図る。

平成25年度実質当初予算 競馬事業局主要施策の概要

◎ 主要事業

事 業 名	金 額 (千円)	説 明
歳入		
(1) 収益事業収入		
・ 勝馬投票券発売収入		<ul style="list-style-type: none"> 11,839,393 10,847,669 ・ 競馬開催規模 (H24比 : 同規模) <ul style="list-style-type: none"> 開催回数 18回 開催日数 66日 レース数 730R ・ 自場売得金額の確保 <ul style="list-style-type: none"> 多頭数が出走する魅力あるレースの提供 快適な競馬観戦のための場内環境の整備 新規ファンの創出と既存ファンの定着 ・ 在宅投票の販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> JRAネット投票での発売拡大 ネット投票会社と連携したPR
(2) その他収入	991,724	<ul style="list-style-type: none"> ・ JRA勝馬投票券の発売 <ul style="list-style-type: none"> G I レースを金沢競馬で発売 ・ ナイター場外発売日数の拡大
歳出		
(1) 競馬開催費	11,839,393 11,770,600	<p>◎第13回 JBC競走の開催</p> <p>地方競馬最大規模の競走を実施</p> <p>開催日 平成25年11月4日 (振替休日・月)</p> <p>レース名 JBCクラシック (2,100m) JBCスプリント (1,400m) JBCレディスクラシック (1,500m)</p>
(2) 積立金	68,793	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財政調整基金積立金